

| | | | | | |
|-------|----------------|------|-----|----|---|
| 授業科目名 | 日本・東洋音楽研究 A, B | 担当形態 | 講義 | | |
| | | 開講学期 | 春・秋 | | |
| 担当教員 | 新海 立子 | 単位 | 2 | 年次 | 3 |

＝授業のテーマ及び到達目標＝

自然や生活、環境が育んできた音楽、言語や文化、宗教が影響を与えてきた音楽のさまざまな様相について取り上げ、考察して行きたい。諸民族の音楽や日本音楽について知り、理解できるようにすることを目標としたい。

＝履修の条件と学習の方法＝

鑑賞をはさんだ講義です。各自、筆記用具を持参し、必ず自分のノートに授業内容を書き取って下さい。毎回、授業のまとめと気づいたことをレポートとして提出します。授業時間外には参考書などを読み、知識を補って下さい。携帯端末使用は禁止します。

＝授業の概要＝

音楽とは何かを考えることから始めます。具体的には、打楽器の用法、弦楽器の多様性、発声のいろいろ、管楽器の音色の違いから、音律や調弦の妙などを対比して行きます。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 民族と音楽 1
- 3回 民族と音楽 2：インドの音楽
- 4回 リズムと拍子の話
- 5回 自然・生活・環境と音楽 1：東アジアの撥弦楽器
- 6回 自然・生活・環境と音楽 2：打弦楽器
- 7回 自然・生活・環境と音楽 3：リュート属の楽器
- 8回 宗教と音楽
- 9回 言語・文化と音楽 1：世界の発声法
- 10回 言語・文化と音楽 2：わらべうたと民謡
- 11回 諸民族の音と音の動き 1：尺八とリコーダー
- 12回 諸民族の音と音の動き 2：十二律と雅楽の管楽器
- 13回 調と調子の話 1：箏の調弦
- 14回 調と調子の話 2：しの笛と能管
- 15回 調と調子の話 3：三味線の調弦

＝テキスト（必携）＝

特になし

＝参考書・参考資料（必携）＝

音楽之友社『新編 音楽中辞典』、東京書籍『民族音楽概論』。配布資料はありません。

=成績評価の方法と評価の基準=

毎回提出レポート五割、学期末レポート試験五割の割合で総合評価します。授業を充分理解し、参加に問題がない場合はA評価、授業をいちじるしく妨害した場合はC・D評価もありえます。

=その他=

特になし